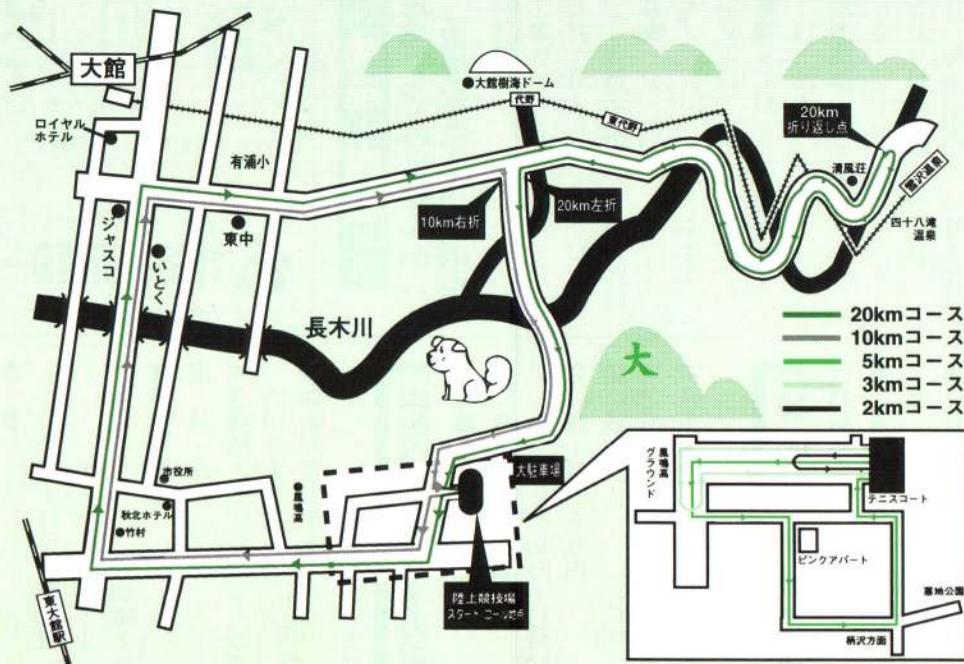


第46回山田記念ロードレース大会

4月29日(みどりの日)10時スタート!
 選手の健闘に温かなご声援を

会場コース案内図



距離	コース	出発時間
20 km	一般男子	11時35分
20 km	大館市出身で、昭和二十八年のボストンマラソンで優勝した山田敬蔵選手の偉業を記念して行われるロードレース大会です。今年で四十六回目をむかえ、大館の春を告げる伝統行事として根付いています。市街地を通り、自然豊かな樹海ラインを抜ける10kmと20kmのコースは、日本陸上競技連盟公認コースにもなっており、今年も、山田敬蔵選手をはじめ、県内外から千人を超えるかたが十八種目に分かれ、健脚を競います。自分の限界に挑戦するランナーに皆さんの温かいご声援をお願いします。	11時30分
10 km	一般男子	11時35分
10 km	中学校男子	10時30分
10 km	高校男子	11時10分
5 km	30歳未満男子、30歳代男子	10時30分
5 km	40歳代男子、50歳代男子	10時30分
5 km	60歳以上男子、一般女子C	10時30分
3 km	一般女子B、ジヨギング	10時10分
2 km	高校女子、一般女子A	10時10分
2 km	小学校女子	10時
3 km	小学校男子、中学校女子	10時

市民体育館内 大会事務局

☎ 42-10310

市長リポート

No. 156



あきた北空港の
 今後の取り組み

あきた北空港の開港がいよいよ迫ってきました。エア・ニッポン社(ANK)が東京便に加えて、冬期間を除いてですが、札幌便の運行を運輸省に申請したことで、この二便でスタートすることが、ほぼ決定しました。

また、同時に働きかけてきた大阪(伊丹)便については、空港周辺の騒音や限りある発着枠の確保などの問題を抱えています。今後、これらをクリアしていくとともに、関西地方在住の本県出身のかたを中心に集まっていたいただき、交流を深めながら、就航を実現したいと考えています。

一方、東京便についても、引き続き、一日二往復体制に向けた運動を進めていきます。開港当初は、一往復でスタートするわけですが、私たちがあきた北空港を利用し、乗降客が十分に確保されれば、目標は一日でも早まるわけです。そのために、圏民の利用のほかに空港を利用した観光客を呼び込むことも必要です。十和田・八幡平などを観光のメインにするなど、航空会社や県のあきた花まるキャンペーンと共同でPRに努めたいと考えています。また、あきた北空港の利活用の推進のために、空港までのアクセスの問題があります。基盤となる道路は十分に整備されてきていますが、空港と市を結ぶ交通機関を充実していかなければならないと考えています。具体的には、定期的にリムジンバスを運行する予定で話が進んでいます。

今まで、札幌や東京に行くときは時間的な問題など、まだまだ不便を感じることもありましたが、これからは、空港を利用することで非常に便利になるわけです。あきた北空港を一つの媒介とし、私たちがどれだけ活発に、経済活動、文化活動、交遊活動へと範囲を広げていくかが重要となります。次の目標に向け、皆さん協力して頑張ってください。

小畑 元